

総務厚生 委員会

新火葬場 建設について

これまでの市との議論の経過や、6月定例会における議案審査について報告します。

新火葬場の候補地

4月20日(協議事項) 白紙に

市では、これまでの新火葬場建設に向けた取り組みの検証をした結果、最終候補地の面積が十分でなかったこと、進入路に課題があったことに加え、選考方法について問題があったとし、最終候補地であるスカイパークを白

紙撤回すること、また有識者や市民等で構成される「新たな組織」を設置することが説明され、質疑や議員間の自由討議の結果、白紙撤回することや新たな組織の設置については承認し、新たな組織の内容については、速やかに議会に協議することを求めた。

新たな組織の

5月20日(協議事項) 原案示される

【概要】

- ・有識者(都市計画や葬儀運営などの分野)6名と各種32団体の代表を合わせた38名で構成する第三者委員会の設置
- ・役割は、①基本構想、②選考対象となる候補地と新たな選考方法、③候補地を検討し、市長へ提案

【論点】

- ・新たな組織の役割の妥当性
- ・有識者の選定や市民公募の委員選出をとらない理由など委員の選出方法の考え

具体的なスケジュールなど今後の進め方

【委員会での意見】

- ・これまでの選考方法の検証を役割に入れるべきでは
- ・有識者の中に、地域コミュニティの有識者を加えるべきでは
- ・市内葬儀関連事業者は有識者から除き、必要に応じて意見を聴取すべきでは
- ・「市民公募」の枠を加えるべきでは
- ・「まちづくり協議会」からは、一人ではなく複数とすべきでは
- ・多数での運営になるため、円滑な運営が必要では



市に意見書を提出

5月24日

その後も委員会で協議をし、これまでの意見書、

推進手順について

市議会、市民との関係について

委員の選出方法について

委員会の運営について

委員会の運営について

委員会の運営について

委員会の運営について

委員会の運営について

委員会の運営について

委員会の運営について

再度、市と協議

6月3日(協議事項)

24日に提出した意見書について、市でも検討を重ね、改めて市の考え方が示され、了承した。

議案として上程

これまでの議論を踏まえ、6月定例会において、議第58号高山市新火葬場建設検討委員会設置条例が上程され、審査の結果全員一致で可決した。

併せて検討委員会の

今後について

市長は、今後、検討委員会が出す提案を「尊重する」としている。議会としては、必要に応じて協議を行い、早期に新火葬場が建設できるように推移を見守ってきたい。

新火葬場建設検討委員会の概要

委員会の構成

- ・有識者5名、各種団体35名(まちづくり協議会4名)、市民公募3名の合計43名
- ・市民公募は「広報たかやま」(7月1日号)において募集

委員会の役割

- ・これまでの選考方法の検証
- ・基本的な構想に関する事項、候補地の選考に関する事項を検討し、市長に提案

委員会の運営

- ・委員会は月1~2回開催
- ・第1回目を8月上旬に開催

委員会の運営経費(約1,274万円)

- ・委員の報酬や会議出席にかかる費用弁償

その他

- ・市民保健部が庶務として関わる